

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4 年 10 月 16 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3472700297		
法人名	医療法人みやうち		
事業所名	グループホームひまわり		
所在地	廿日市市宮内字佐原田4207-4 (電話) 0829-38-0793		
自己評価作成日	令和4年8月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3472700297-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年10月13日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

季節を大切に日々の料理は、季節を感じて頂ける工夫を凝らし完全手作り。時々、入居者様のご要望をお聞きして作ります。行事料理は特に力を入れています。「見て美味し食べて美味し」をモットーにしています。特に、今、外出がままならない状態ですので、食事の楽しみは大切にしています。個別のプランでのリハビリも実施し皆様の身体機能を維持向上出来るよう支援しています。衛生面感染面も気を付け、1時間おきの換気と日に4回ホーム内の消毒を継続しています。安心安全に生活できるよう職員一同心掛けています。ご家族様には、毎月送る写真付きお手紙には工夫を凝らしています。ご家族様から毎月届くのが楽しみと声を頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

日常を大切にしたい理念を念頭に、職員は毎日を楽しみ過ごしてもらう為の支援をしている。コロナ禍で長い期間、出掛けることや馴染みの人と会うことが困難な中、職員はグループホーム内で、退屈せず生き生きと日々を送れるよう、話し合いを重ねアイデアを出し利用者の為の支援をしている。医療に関しても運営母体である隣接した医療法人を核に、有事においても常にバックアップを確保している。近年多く発生している様々な災害に関しても、事業所は地理的環境を把握し、常に危機意識を持ち、利用者と共に避難訓練を行い、更には地域に対し、出来る事を積極的に行うよう努力している。職員は8-9割が介護福祉士の資格を持ち、個々のスキルも高く法人はステップアップの為の支援体制を整えている。管理者及び職員は法人の協力を得ながら、日々サービスの向上を目指して支援している。

自己評価	外部評価	項目(グループホーム1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「笑顔で安心できる場所」がグループホームの理念です。朝出勤者で唱和し、日々意識して行動するようにしています。職員数が潤ってない為、思ったようには行かない時もありますが、生活、食事、行事などに、理念の方針を取り入れる事を常に心掛けています。	共に生活することをモットーに、職員は理念に沿って、利用者個々のプランにアピールしたい点を記入し、参考にしながらぶれない支援を心掛けています。職員は1~2ヶ月に1度の職員会議で話し合い、気付き等情報を共有し、管理者と共に振り返り、更なる支援に繋がっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍により、ボランティアの方に来て頂くなどの地域との交流が1年以上出来なくなっているのが現状です。連絡などは行っています。お米は地域の農家さんから契約して、また梅やシソや野菜など、「皆さんでどうぞ」と季節の物を持ってきてくださいます。	コロナ禍において、イベントに参加することが困難で、知人の来訪やボランティアも中止しているが、職員は途切れない付き合いを大切にしている。近隣の農家から米を買ったり野菜を頂いたり、時には玄関先で挨拶をしている。職員は地域の様子を利用者に伝え、地域交流の支援に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	交流のある農家さんから、お身内の認知症介護について御相談を受け、グループホームを含め、医療法人みやうちの内容をしっかりとお伝えし、スムーズな運びになるようアドバイスをさせていただいた。常に、相談しやすい窓口を心掛けています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナの状況で、法人内職員のみで行う事が続いています。皆様にはご意見ご要望や報告は書面にて対応させて頂いています。ご家族様の声には、「安心」「母の笑顔」がキーワードにです。それに踏まえて、料理、レクリエーション、日常作業、コロナ感染対策に日々工夫したり、改善したりしています。	書面会議の形式が多く、多職種の関係者や家族に事前に意見をもらいながら、より良い支援に活かす取組みがある。事業所は現在の状況を細かく報告し、質問があれば丁寧に答えている。議事録は毎回家族や関係者に送付し、更なる意見交換に繋げサービスの向上に活かすよう努力している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の参加のご連絡をしています。現在コロナで、医療法人職員のみで行っているのが続いています。そのかわりご意見ご要望をお聞きし、あれば会議でとりあげて話し合っている。会議の報告もその都度行っています。	市へ運営推進会議の議事録を提出して繋がるよう努力している。また市から例えば、台風などの防災についてのアドバイスを貰ったりしている。その他に市の担当者に、より良い普段の対応(支援)について、相談する等協力関係を築くよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目(グループホーム1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人内の研修やホーム内での勉強会で学ぶ機会を行っています。日中玄関などは施錠することはなく、見守りと付き添いの元、出入りが出来る様になっています。ベッド等も柵で囲う事はせず、歩行不安定な方は、コールなどで対応し、すぐ介助に向かえるようにしています。	身体拘束や虐待とは何か、その影響を研修等通じて職員は理解している。支援の在り方についても、スピーチロックにおいても、日頃から疑問を持って話し合い、拘束しない支援に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	1年に1回、それに伴う勉強会をおこなっている。また法人内院内研修などにも年に一回はテーマとしてあげられ、講義を受けている。半年に一回職員ストレスチェック等のアンケートをとり、ケアを行っています。また、悩みなどあれば上司等に、相談しやすい環境を大切にしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在制度を利用されている方がいません。理解できている人もいるが分からない人もいると思われます。勉強不足は否めないで、今後の為にも、勉強会等の議題に取り入れて、学んでいきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、約款のご説明を分かりやすく丁寧に行い、またここでの生活の流れや看護介助の行い方をご説明し、ご家族様の声も聴き、安心してご納得いただいた時点でサインを頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ホーム内にも法人内にもご意見箱を設置。また月一回ご家族にお手紙を送り近況報告とご意見を聞く枠を設けております。寄せられたご意見は職員会議や運営推進会議で話し合います。日々のコミュニケーションの中でも耳を傾け要望に近づけるようにしています。	家族の意見は、来所時や運営推進会議で、定期的に身近な出来事を伝えている。事業所は家族からの要望を反映するため、例えばコロナ禍の現在、窓越しでの面会を、玄関でビニール越しの面会に変更することで、手と手を合わせた時互いの温もりを感じたり、職員は工夫しながら意見の反映に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(グループホーム1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的に職員会議など設け、問題点や改善方法や良かったこと等を意見交換している。日々の活動に取り入れるよう心掛けています。人事考課を通じて個人面談をし、意見要望を聞いています。	働きやすい環境を作る為の体制を整えている。事業所は職員からの意見は会議の場のみで無く、個人面談や様々な場面で行っている。更に職員からの要望があれば会議で話し合い、必要に応じて法人のひまわり会議(月に1回)やホーム長会議(2ヶ月に1回)に図り、意見の反映に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	半年に1回、人事考課おこなってます。個々の努力や実績を反映できる環境である。状況に応じて、面接をおこない良いところや改善点などを話をしている。また、職員の要望も耳を傾けている。人材不足の問題点は、慢性化しているのが現状ですが、職員全員協力助け合いながら補ってます。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	毎月行われている、感染防止の為院内研修は全員空いた時間を利用しパソコンから講義を聞いています。院外研修は、このような状況の為、オンラインでの参加型には、受講しやすい面がある。資格習得に必要な研修や試験は、日々の業務でしっかり身につけた後、順々に打診しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	7月に、地域密着型サービス事業所情報交換会に参加して、他のグループホーム様と意見を交し問題点や他の事業所はどのようにしているのかを話し合った。今後、お互い定期的に連絡を取り合いより良いものを築けるよう、情報を共有しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人様が、生まれ育って今日まで、どのような環境と状況で生活をされてこられたか、ご本人様やご家族様からお聞きする。更に今の生活でご本人ご家族共に感じる問題点を聞かせて頂き、その問題点を少しでも改善及び安心へと導けるようケアプランを作成しています。		

自己評価	外部評価	項目(グループホーム1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前の状況や本人ご家族様の思いを受け止めより良いQOLの構築を目指せるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居時の暫定プランを元に本人とご家族様が、今何を求めているかを大切にしたいサービスの提供に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人様の思いを傾聴し寄り添う気持ちを持って一緒に生活し、楽しい事悲しい事等々を共感できるよう関係を作っています。また介護ではなく、お手伝いさせてもらおうという気持ちを忘れないようにしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時やケアプラン作成時にご本人の様子や気持ちを大切に、また、ご家族様と職員が一体となり本人を支えていけるように常に話し合える関係を作っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ禍の中で面会や外出が困難であるが、昔住んで居られた場所のお話等、思い出を引き出せるよう職員からお話しするよう努めています。	日頃の生活を通して、職員は本人が希望することを把握している。コロナ禍で外泊や外出が出来ない現在、広い敷地内を職員と散歩したり、庭に出て隣人と挨拶する等している。中には目的に合った利用者が、近くをドライブする等、職員は馴染みの関係が途切れない支援をしている。	

自己評価	外部評価	項 目(グループホーム1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者同士での交流が出来る様にリビングでの談話やレクリエーションを皆で楽しんで頂くよう努めています。また皆様の輪に入っても孤立化しそうな方には、職員が傍に寄り添い、会話の橋渡しや、話しやすい状況を作りやすいよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	コロナ禍の今、面会や経つよりは難しくなっているが、必要に応じて相談やお話を聴くなどしています。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	フェイスシートやサマリーで情報を得たり、ご本人やご家族様とお話をして把握しています。	何が本人にとって良いかを把握し、家族の思いや意向を大切にしながら支援方法を検討している。利用者の中には、テレビ番組の影響を受け無断外出に繋がってしまった事例があり、職員はケアの見直しを検討し、その人に合った意向の把握に努め、改善に繋げるよう努力している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	フェイスシートやサマリーで暮らしの情報を得て、職員の中でも情報共有出来る様にしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	行動記録や心身の情報を記録やカンファレンスで情報交換し把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目(グループホーム1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人やご家族様の希望をお伺いしカンファレンスにてケアプランを作成し、それを基に本人様やご家族と共に現状にあったケアプランを作成しています。</p>	<p>モニタリングは3ヶ月に1回本人、家族の意見を中心に、必要な関係者が計画を作成している。又、カンファレンスを行い、状態の変化がある場合は、短期目標のプラン変更を行い、現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ケアプランに沿った内容をケア記録に入力し、またカンファレンスノートにて職員間での情報共有ができています。</p>	/	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>必要に応じて適したサービスが提供できるよう多職種の方に相談したりと連携が取れています。</p>	/	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍の中で、ボランティアに来て頂くのが難しくなっています。そのかわら職員皆で暮らしを楽しんで頂くよう、新しいゲームなどを考えたり、職員と入居者様で楽しく趣味や芸を身につけるなど、努めています。</p>	/	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>併設病院で受診しており、必要があれば他の病院に受診するよう適切な対応ができています。</p>	<p>協力医は、同じ法人内に常駐し、4週間に1回受診している。更には看護師、薬剤師、担当職員と連携を取り、有事の対応は敷地内の医療機関が、連携し素早い対応を確保している。また必要に応じて他科受診や、歯科受診も適切に行われている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(グループホーム1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>食事、水分量、排泄や皮膚の状態、言動や行動等、利用者に少しでも変化があれば看護師に報告しています。月に1回は全員定期受診しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院は併設病院が多い。病院相談員と協力しながら情報交換や近況報告を常に行っています。また医師からもご本人やご家族様にしっかりご説明して頂いています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>安心して終期を迎えられるように事前に本人や家族の希望を聞き希望に沿えるよう医師と相談しています。</p>	<p>管理者は看取りの経験があり、利用開始時には家族に説明を行い、同意書を交わし方針を共有している。重度化した場合、改めて家族と話し合いを行うが、基本的には隣接の医療機関を希望し入院することが多い。職員は家族の気持ちに寄り添い、チームで安心したケアが出来るよう取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急マニュアルに沿って対応や連絡体制を職員間で共有しています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>ホーム中で月に1回程防災避難訓練を行っています。また年二回、消防署へ防災訓練実施報告書を提出しています。</p>	<p>災害訓練は利用者を含め、定期的に行っている。併設の法人医療機関は地域との協力体制を築いており避難場所にもなっている。事業所は地域に何が出来るかをコンセプトに、災害対策及び避難訓練を行いながら、素早い対応が取れるよう取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目(グループホーム1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	本人が自ら行いたいと言われる時には、見守り時には声掛けやお手伝いできるように対応し、本人が安心できるように話しかけたり、話を傾聴するように心掛けています。	利用者一人ひとりの生活歴を把握しながら、職員は日頃の会話や行動から、その人がしたい事を汲み取り、例えば編み物でマフラーを編んだり、俳句を楽しむ事等、情報を共有し支援している。普段の言葉遣いにおいても、スピーチロックを行わない工夫をしながら、人格を尊重する対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	コロナ禍により外出の希望などには添えていないが、玄関先で外気浴や入浴時間等自らの意思に添えるよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	介助拒否があれば、時間をあけて状況をみながら声掛けさせて頂く。決して無理はしない。何かやりたいことや希望があれば、しっかり耳を傾けて、ご本人様のリズムを大切にしながら協力し接していくよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入浴時ご自身で拭くの準備をして頂いたり、介助も交えながら身だしなみを整えるようにしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	時々何が食べたいか聞き少しでも取り入れられるようにしたり、盛り付けを工夫し楽しんで頂き、お膳拭き等のお手伝いをして頂いています。	食事は三食、利用者と共に作っている。気候の良い日は庭に出て、手作り弁当を皆で楽しんでいる。事業所は理念にある”四季折々の食事で食卓を囲む”を大切に、利用者は毎日の食事を楽しみにしている。食事環境(テーブルの配置など)にも気配りを行い、楽しく飽きない食事を支援している。	

自己評価	外部評価	項 目(グループホーム1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	きざみ食や普通食等その人に応じた食事を提供し、薄味に心掛け、水分も食事以外や本人希望時等にも提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、声掛けで、できる方にはして頂き見守り、仕上げのお手伝いをしたり、難しい方には、介助し口腔ケアを行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	自ら行って頂き、排泄の感覚が難しい方は、定時のトイレのお誘いをする事で、自立に向けた支援を行っています。	利用者の排泄パターンは、タブレットを利用し情報を共有することで、パット交換の回数も減り、家族に費用(パット代)の負担が減ると喜ばれている。またリハビリを行い、その人の残存能力を少し引き出す事で、排尿や排便の自立に向け工夫し、支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	下剤で調整したり、水分やヨーグルトを取って頂き、食事も消化の良い物を心掛け、身体を動かして頂きながら、便秘をしないように取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	声かけし拒否ある場合は時間をずらし再度声掛けしたり日にちをずらしたりして入浴の支援を行う。	基本的には3日に1回の入浴支援を行っている。支援の方法もその人に適した入浴法を考慮し対応している。入浴環境もゆず湯や入浴剤を使用する等、入浴を楽しめるよう努めている。浴槽に入る事が困難な利用者には、冬場の浴室温度を快適に出来る様、職員はアイデアを出しながら検討している。	

自己評価	外部評価	項 目(グループホーム1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>入居者一人ひとりの状態に合 わせて室温の調整や適切な声掛 け援助し安心して過ごして頂い ています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬の内容や個数等を表に記入し、 それを基に職員同士で確認でき るようにしています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>洗濯物やサラシたたみ、お膳拭 き等、ひとりひとりの習慣や能 力に合わせて行ってもらい気分 転換をして頂いています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。</p>	<p>コロナウイルス以前は、外出、 外食、買い物等本人と一緒に 行っていたが現在は周辺の散歩 やドライブ等行っています。</p>	<p>外出が困難な現在、職員は外の 空気を感じて貰うため、天気 の良い日は玄関先の畑で、花に 水やりをする利用者もいる。 また敷地内を散歩したり、時 には近隣住民と挨拶を交わし ている。職員は安心安全な外出 (外気に触れる機会)が出来 る様に取り組んでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>ご本人様とご家族様のお金に対 するご理解とご要望の元、限ら れた方がある程度の金額を所持 しています。現在コロナ禍でな かなか買い物へお連れできない が、法人内の自動販売機など ご利用されています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(グループホーム1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人自ら携帯電話を使用されている方は、本人が話ができるよう職員が付き添い援助しています。要望があればご家族に職員から伝えています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節ごとに飾りつけを替えたりテレビの音や電気の明るさ、室温等、適切に調節し心地よく過ごせるようにしています。</p>	<p>日中はリビング内の一段上がった座敷で洗濯物を畳んだり、イスに腰掛けて野菜の皮むきをする利用者もいる。1~2ヶ月に1度習字の時間を設け、中にはその人ならではの文章もあり、賑やかな心地良さやみんなと一緒にいる安心感が共用空間にある。また空調管理はもとより、衛生管理も行っている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>入居同士が仲良く心地良く過ごせるようにソファを配置しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居契約時、ご本人様を使い慣れたものをご準備して頂くようお願いし、環境の変化に少しでも不安を持たれないようにとの配慮をしています。本人が使いやすく安全なものを家族と相談しながら、自室に配置して頂いています。</p>	<p>居室入口には大きく書かれた名札と、利用者の手作りの壁飾りが季節を彩っている。室内は洗面台・ベッド・大きめのクローゼット・エアコンが備え付けてあり、持ち込んだお気に入りの物も有る。職員は、利用者一人ひとりが大切にしているものを把握し、居心地よく過ごせるよう支援に努めている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>本人が自立して生活が送れるように表札や張り紙を工夫して使用しています。ホール内は、歩行の妨げとなるものは置かず、手すりを持ちながら安全に歩けるよう配慮しています。</p>		

V アウトカム項目(グループホーム1階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(グループホーム2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	カンファレンスでは、ご本人様の思いや望みを聞き入れ、また理念に沿ったプラン作成を心掛けている。毎日、理念を唱和し、意識した生活作りを心掛けている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	入居者様と色々な場所へお出かけや、ボランティア様の受け入れなど、思う様に出来ないのが現状です。ボランティア様とは時々お電話し現状をお伝えしています。地域の農家さんからお米を契約し購入しており、また季節野菜を頂くなど声をかけて下さる。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	ホームへのご相談を随時受け付けており、また、それ以外の認知症等の対応も、相談しやすいよう心掛け運営推進会議などや、報告できる場所での旨をお伝えしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議などで話し合った事は、職員全員が周知し、より良いものとして実践をしている。実践していくうえで、改善が見られたら、勉強会やカンファにて話し合っている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議で市の担当者の方もご参加頂けるよう声掛けを行っているが、コロナ禍の為、法人内職員での会議が続いています。ただ、書面やお電話にてご意見ご要望をお聞きしています。またそれに向けて話し合ったことを、ご報告させて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目(グループホーム2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人内の研修やホーム内での勉強会で学ぶ機会を設けており、正しいケアを出来るよう、法律を遵守し尊厳を守るという事を、心掛けてケアをおこなう。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	身体拘束同様、法人内の定期的な研修やホーム内での勉強会などで学びあっている。オムツ交換や着脱時など、必ず発赤・ただれ・傷・皮下出血等無いか確認をしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	なかなか学ぶ機会がなかった。自ら制度について取り入れた勉強会を行い、時にマネージャーや相談員などにも参加して頂き、アドバイスを得たいと思う。また今後の為にも、連携をとっていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、管理者とマネージャーから約款内容の説明を丁寧に行っている。またご利用者様やご家族様からの質問なども分かりやすくお話しさせて頂き、不安を取り除けるよう努力し、ご納得された上で、サインを頂いている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議の意見交換以外には、苦情設置箱や法人からのアンケートの実施を行っている。またホームでも月に1度個々の写真付きお手紙を送り、一部内容に、必ず些細な事でも困ったときは声をお聞かせください。との内容を取り入れている。色々な場所から頂いた意見を運営に活かしている		

自己評価	外部評価	項目(グループホーム2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	カンファレンスや職員会議などを通して、意見交換を出来る場を設けている。また話しやすい環境を心掛けている。他、半年に一回の人事考課などで、個人的意見を伝える場がある。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	半年に1回人事考課を通して個々の努力や実績、勤務状況などの把握はできている。また話しやすい環境を心掛けている。他、半年に一回の人事考課などで、個人的意見を伝える場がある。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	人事考課により一人一人のケアの実績と力量の把握はできている。法人内で定期的に院内研修を行ったり、外部の研修やオンライン研修などに参加できるよう案内も回っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	定期的にホーム長会議を行い他のグループホームとの情報交換を行ったり交流もできている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前面談で現在の状況や困っている事などご本人様、ご家族様と話し合いをし把握するとともに安心していただけるようなケアプラン作りと関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(グループホーム2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている。	入居前に自宅または利用中の施設に訪問し困っている事や不安な事や要望をお聞きしそれに応えられるようグループホームとの環境に沿って説明させていただいている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居前面談でご本人様、ご家族様と話をすることで必要としている支援が何か見つけその状況に合わせ必要なサービス利用ができるよう暫定プランを作成している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	食事作りの献立を一緒に考えたり、食事の後片付けや洗濯物たたみなどお手伝いしていただけたところはしていただき職員と一緒に生活している関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	現在は感染拡大防止のため面会の制限を行っているが定期的に写真付きのお便りを送ったり電話やメールで現在の状況の報告など行いご家族様にも安心していただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	現在は感染拡大防止のため面会の制限を設けたり、外出も控えているが電話やメールで現在の状態を報告したり出来る限り関係が途切れないよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目(グループホーム2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係性など気付きを職員間で情報を共有し利用者同士がスムーズに関われるよう支援に努めている。意思疎通の困難な方も職員が間に入り交流できるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居された後も相談を受ける事もありその都度対応したり、ご家族の意見としてアドバイスをいただいたり関係性を大切にしながら関係性を保つようになっている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人の思いや暮らし方の希望などご本人様やご家族様との会話の中よりお聞きしケアプラン作成に反映させていただいてる。困難な方の場合は表情や発語よりくみ取るように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	フェイスシートなどを活用し一人一人の生活歴や馴染みの暮らしなどの情報の把握はできている。こまかいところは本人様との会話の中やご家族様に話を聞いたりして情報を把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々、経過観察と記録の入力を行い変化があった時はホーム内の看護師や併設病院の医師に相談するようにしている。カンファレンスノートにも記入し職員間での情報共有も行っている。		

自己評価	外部評価	項目(グループホーム2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>3ヶ月おきにケアプランの更新をしておりタブレット入力時にケアプランの実施を入力したりカンファレンスノートに記入したりしたものを活用しモニタリングを行っている。作成時にはご本人様やご家族様の要望をお聞きしケアプラン作成に反映している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>記録はタブレット入力で行われており変化や気づきなどは個別で入力している。職員間で共有する情報はカンファレンスノートに記入している。ケアプランの内容も必ず実施状況をタブレットに記録している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>状態に合わせ医師や看護師に相談し必要なサービスが行えるよう多職種で連携をとり支援できるようにしている。必要な医療機関への受診や入院など。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>法人内の他部署や相談員などから情報を得て参加できる地域資源の活用を行うようにしているが現在はコロナ感染が拡大しており思うように活用できていない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>月に一回併設病院にて受診をしている。ご本人様とご家族様の希望があれば他の医療機関へご家族様が連れて受診をしていただくなどのことも行っている。その際には他の医療機関への情報提供はきちんと行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(グループホーム2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>ホーム内に看護師が勤務しているため気づきや変化などを伝え相談することができている。併設病院に定期受診または臨時受診を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>併設病院に入院された時は洗濯物を取りに行くのでその時に病院職員に状態を聞いたりして連携を図っている。他の病院へ入院された時もその病院の看護師や相談員連絡をとり連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人様やご家族様と話し合いをし意向を踏まえて医師に相談しどうするか思案している。相談員に相談をすることもありしっかり連携を取りながら支援している。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時対応マニュアルを作成しすぐ見れる所に貼ってある。日頃より看護師よりその都度の対処法を習ったり勉強会も行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>ホーム内で入居者様も含めた防災訓練を行っている。法人全体での訓練や地域の方々が参加しての訓練も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(グループホーム2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	すぐに声掛けをして止めるのではなく状況によってしばらく見守りをしたり一人一人に合った声掛けをしプライバシーを損ねないように対応している。特に排泄面での声掛けは注意して行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	おやつや食事の内容など希望を聞いたり、外出の希望など対応しているが現在はコロナ感染拡大のため外出に関しては希望に沿えない面もある。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	急ぐような声掛けはしないようにし一人一人のペースや思いに合わせて寄り添う支援を大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時にはブラシやクシで髪をといていただいている。希望時にはお化粧品もできるように用意している。定期的に美容院や理容院が来られるので利用している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	3食全て手作りを心掛けている。季節の味を大切に行事食も手作りのものを食べていただいている。食後は本人の意欲や残存機能に合わせてお膳拭きや片付けを一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項目(グループホーム2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人一人の食事摂取量や食事形態を把握し、普通食・きざみ食・ミキサー食など対応している。水分摂取量の少ない方は水分摂取表に記入し水分不足にならないよう対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアチェック表をつけることで行えているかの確認をしている。歯磨きができる方には声掛けをし難しい方は介助にて行う。一人一人できているか確認しうまく磨けていなければ仕上げ磨きをさせていただいている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>定期的にトイレの声掛けを行っておりオムツの方も状態を見てできる時にはトイレに座っていただいている。なるべく自立できるようにできない所を介助や支援をするようにしている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>看護師と相談をしながら水分補給をしたり繊維質の多いものや乳製品を摂って頂いたりしそれでも困難な方は下剤や座薬にて対応している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一人一人に合った声掛けや入浴介助を行っている。現在、夜間の入浴は難しいが日中では入浴できるよう対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(グループホーム2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	その日の体調や状態を観察し休息の必要な方には声掛けをし夜間の睡眠に支障のない程度横になって休んでいただく時間を設けている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	薬剤情報や処方箋をファイルにとじて見られるようにしている。与薬前には名前と日付と服薬時の確認を声に出して行っている。薬の変更などあれば受診ノートやカンファレンスノートに記入し職員間で情報の共有ができるようになっている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	食事のお手伝いができる方、洗濯物たみのできる方、裁縫のできる方など一人一人できる役割をもって職員と一緒に楽しみながら生活ができるよう支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	以前は行っていたが現在はコロナ感染拡大のためほとんど外出はできていないが、花の水やりやメダカのえさをあげるため玄関先に出て外の空気に触れたいたりしている。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	所持金を持っておられる方は少ないがご本人やご家族の希望で自己管理していただいている。買い物の希望があれば希望の物を購入したり、自動販売機に飲み物を買に行ったりしている。		

自己評価	外部評価	項目(グループホーム2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ホームにある携帯電話でご家族様と直接お話して頂いたり、ご希望があれば職員からご家族に伝えたりしている。手紙も希望があれば出せるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ホームの玄関先に長ベンチあり。気候のいいときにはお茶を飲んだりおやつを食べたりされている。ホーム内の温度や湿度にも気をつけ定期的に換気を行っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>入居者様の共有スペースはソファ、畳、ベンチなどゆっくり過ごしていただけるよう場所を設けている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご本人様が愛着されている物や慣れ親しんだものを持ってきていただき居室に置いたりし安心して生活ができるよう安全面にも配慮し工夫している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレや風呂場には分かりやすくするために大きく書かれた案内板があり、各居室前にも名前の書かれた表札を掲げてあり自室が分かるように配慮されている。</p>		

V アウトカム項目(グループホーム2階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームひまわり

作成日 令和4年11月26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	近年、コロナで地域のボランティア様をお迎えしての交流の場が難しい。	来年、感染状況を見極めながらボランティア様をお迎えして、披露して頂く場を設ける。	3か月前より打診し、感染対策含め準備を行い、連絡を密に取りながらお互いの条件状態を考慮し開催へと運ぶ。	約3か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。